



# 立入が丘小学校だより



## フローティングスクールからびわ湖について考える

11月25日～26日、27日～28日と5年生はフローティングスクールに出かけ、びわ湖について学習してきました。いつもは陸から見るびわ湖を船上から眺め、歴史について、景観について、水利用について等、様々な側面からびわ湖について学習しました。

びわ湖は、日本一大きい湖として有名ですが、世界に20しかない古代湖の一つとして、その中でも世界で3番目に古い400万年という歴史ある湖として存在しています。一般的な湖は1万年ほどで土砂の堆積の影響により埋没してしまうとのことなので、びわ湖の400万年は途方もない数字です。また、1,700種類以上の生き物が棲み、そのうちの60種類がびわ湖にしかない固有種です。歴史あるびわ湖のことを、もっと自慢してよいと思いました。

びわ湖は滋賀県の1/6の面積があり、大小合わせて約460本の河川の水が流れ込んできますが、琵琶湖からの水の出口は瀬田川だけです（厳密には他に琵琶湖疎水と宇治川発電所導水路があります）。びわ湖はダムの役割を果たすとともに、滋賀県をはじめ京都、大阪、兵庫、三重の約1500万人の生活用水を賄っており、びわ湖は『近畿の水瓶』と言われています。このびわ湖を預かっているのが我々滋賀県民です。滋賀県民の自虐的ギャグで「水止めたるか！」（写真右：滋賀土産のキャッチフレーズにもなっています）がありますが、実際に洗堰を全閉したことがあるそうです。大雨による洪水の被害から京都を守るために行われたそうです（決して嫌みや意地悪ではなく、人道的立場からの良い行いです）。

ここでもう一つ考えたいのが、地球上における生活用水となる淡水の量です。水の惑星と呼ばれる地球は表面の2/3が水で覆われ、その量は14億立方キロメートルになります。しかし、そのうちの97.5%は海水です。淡水は2.5%しかありません。しかもこの淡水の7割は北極・南極の氷であったり、地中深くにいたり汚染されていたりして使用不可能な水で、人間が実際に使える水は0.01%だけになるそうです。

こう考えると、毎日何気なく使っている水、何気なく眺めているびわ湖や川は、とても貴重な物であることが分かります。人間の勝手な振る舞いで汚してきた川やびわ湖。水は無尽蔵と思いがちですが、淡水で利用可能な水は地球上の全ての水の0.01%しかありません。びわ湖を預かる滋賀県民として、もっと水環境に敏感でいなければならぬと思いました。



### 除草作業ありがとうございました



岡町の寿会様が本校中庭の除草作業をしてくださいました。丁寧に作業をしてくださり、とてもきれいになりました。ありがとうございました。